

海外派遣報告書

CAFEO－22

(Myanmar Yangon)

DATE 2004. 12. 18 (Sat) ~ 12. 19 (Sun)



日本技術士会

青年技術士懇談会 国際交流 WG

1. はじめに

2003年10月 日本技術士会 青年技術士懇談会は、国際交流活動としてインドネシアで開催されたCAFEO-21(ASEAN加盟国により毎年交代で開催される)に初めてメンバーを派遣し、中でも若手技術者による分科会であるYEAFFEOに参加した。

参加各国からも若い技術者が多数参加しており、青年技術士懇談会の存在をアピールすることができた。

今回、2004年の開催国であるミャンマーからYEAFFEOへの招待を受け、昨年に引き続いて青年技術士懇談会から3名を派遣することとした。

2. 参加目的

CAFEO-22 及び YEAFFEO-11 に参加することにより、参加各国とのコネクションを構築し、これからの国際化時代に備えると共に、国際的な技術動向の把握、青技懇メンバーの国際感覚の向上、若手技術者の交際舞台での経験を養う事を目的とする。

3. 参加者

今回の派遣は青年技術士懇談会国際 WG より3名が参加した。

また個人参加として、日本技術士会より2名の参加があった。

清田 隆(青技懇) 東京大学生産技術研究所

山田 英樹(青技懇) 三浦市役所(技術士補)

斉藤 稔(青技懇) (株)藤精機製作所(技術士補)

本間 勝 X-DOS 技術士事務所

出崎 太郎

4. CAFEO-22 概要

4-1 目的

CAFEO-22 は ASEAN 加盟国の技術と産業の向上のための技術交流の場である。

4-2 背景

AFEO は ASEAN 事務局と提携する非政府組織であり、AFEO 参加団体は ASEAN 加盟国により設立される技術系組織で構成される。

CAFEO は AFEO の目標と目的である、親交を深め、理解・協力し、また意見と経験の交換を行うために、毎年加盟国が交代で主催し、開催される。

今年はミャンマーでの開催となった。

4-3 主催者

ASEAN Federation of Engineering Organizations (AFEO)

4-4 CAFEO-22 主催団体

Myanmar Engineering Society

5. 行動日程

2004年9月

CAFEO—22開催国であるミャンマーの組織である MYANMAR ENGINEERING SOCIETY より山田宛に9月21日付けで電子メールにて招待状が届く

10月

青年技術士懇談会にて継続参加決定。青年技術士懇談会内でメンバー募集

11月

清田 隆、斎藤 稔、山田英樹の3名の派遣者決定

12月15日～17日

ミャンマーへ向け派遣者順次出国

12月18日～19日

CAFEO—22(YEAFEO-11)に参加

12月21日～25日

派遣者順次帰国

6. 会議内容

6-1 タイムテーブル

CAFEO-22 の中で、今回参加したプログラムのタイムテーブルを示す。

日付	時間	項目	内容	場所
18日	7:30	Opening Ceremony	ミャンマーミュージックエンターテイメント	Grand Ball Room
	7:45		AFEO加盟国国旗入場	
	8:00		H.E.Lt-Gen Soe Winミャンマー連邦首相到着	
	8:10		CAFEO-22ソング&ダンス	
	8:15		演説(CAFEO組織委員会議長Sein Myint)	
	8:25		会議報告(CAFEO-22組織委員会秘書U Than Myint)	
	8:30		AFEO特別名誉会員授与	
	8:35		演説(H.E.Lt-Gen Soe Winミャンマー連邦首相)	
	8:50		各国代表者写真撮影	
	9:00		AFEO名誉会員授与	
	9:50	演説(WFEO会長Academician Dato Ir Lee Yee Chong)		
	10:00	Coffee Braek		
	10:30	YEAFEO Program	Country Report	Latha Room
12:30	Runch		DUFU Restaurant	
14:00	YEAFEO Program	Council Meeting	Latha Room	
16:00		記念品交換		
17:00	End of YEAFEO P.			
19:00	Wellcoming Dinner		Grand Ball Room	
21:00	Tuor	チャイナタウン見学		
19日	8:30	Bus Tour	Yangon市内見学	
	12:30	Runch		Sedona Hotel
	14:00	Tuor	市内マーケット見学	
	17:30	Closing Ceremony		Grand Ball Room
	19:00	Farewell Dinner Party	各国出し物	Grand Ball Room



会場の Sedona Hotel

6-2 18日内容詳細

1) 開会式(7:30~10:00)

開会式においては、ミャンマー連邦首相を始め、Myanmar Engineering Society 会長など、CAFEO 関係者の演説や挨拶に加えて、歌や踊りのパフォーマンスで盛り上げていた。

ミャンマーからの参加者は皆民族衣装に身を包んでいたが、軍事政権のである為、会場前列の貴賓席には、軍服の来賓者が多く見られた。



2) YEAFEO COUNTRY REPORT(10:30~12:30)

18日 am に開催された Country Report において、日本は日本技術士会及び青年技術士懇談会の紹介を行った。

昨年の経験から、今年は事前にパワーポイントによるプレゼンテーション資料、配布資料を準備し、プレゼンテーションの練習も行っていった。

また、ミャンマーでのコンピュータ事情が不明瞭だったことから、万が一に備えてノートパソコンも持ち込んだ。

会議場での設備は十分だったと思うが、こちらから持参した CD-ROM が開けない状況もあった。また事前の情報では、19日に予定されていたはずの Country Report が、急遽 18日の AM に行くことを告げられた為、当日の資料準備、打ち合わせが十分に行えなかった。

加えて日本は発表の順番が一番最後だった為に時間切れとなり、予定していた新潟地震の状況報告が行えなかった。

各国のヤングエンジニア組織ともパワーポイントによるプレゼンテーション形式で発表しており、十分に準備がされている様子だった。

内容的には、技術的なスキルアップを目指した教育プログラムの実施や、他機関、他国との交流などを積極的に行っているようだ。

学生が多い参加国のヤングエンジニア組織では、対外的なイベントを企画するよりも、会員のスキルアップの為の企画が多いのではないかと感じた。尚、今回発表した Country Report を添付する。



3) YEAFEO COUNCIL MEETING(14:00~16:00)

14:00 から、昨年の YEAFEO-10 から引き継いだ、YEAFEO 議事についての議論が行われた。この場での議論については、ゲスト国である日本及び香港には発言権が無く、ただ行方を見

守るに留まった。

数名の Welcome speech の後、本題に入った。

今年の議題は以下の 5 項目である。

1. Young Engineers Exchange Program
2. Resources Exchange Program
3. Updating YEAFEO Website and Mailing List
4. How to Develop Young Engineers Profession
5. Others



聞いている限りでは、YEAFEO のウェブサイトの運営について、その管理をどうするか、事務局を選出する必要があるというような事に議論が集中していた。

国によって、人材やネット環境にの差が開きがあると思われるが、最終的にはそれらの要件が最も満たされているであろう、タイとマレーシアの発言が目立った。

また最終的には上記の案件について、タイとマレーシアが中心となって取り組む様である。帰国後メールにて配布された議事録及び各国のヤングエンジニア組織の一覧を添付する。

4) レゼント交換(16:00~17:00)

16:00 ころ YEAFEO Council Meeting が終了すると、各国の記念品交換となった。

まずミャンマーから、各国の代表者 1 名へ記念品が手渡され、各国代表者からミャンマーへ記念品を手渡した。

さらにその後ミャンマーから各国の参加者全員に記念品が手渡された。

その後は、各国同士そこかしこで記念品の交換が始まった。

1 国で複数種の記念品を用意しているところもあったが、今回日本は日本画の印刷された風呂敷を持参し、概ね好評を得ていた。



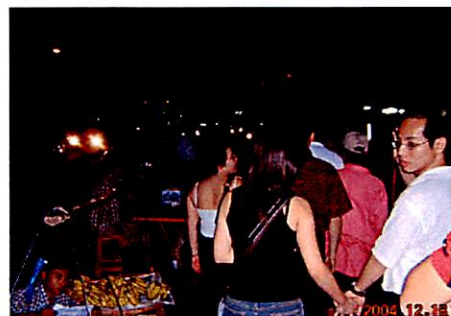
5) CHINA TOWN 見学(21:00~24:00)

19:00 から始まった Welcome Dinner は Grand Ball Room で行われたが、YEAFEO メンバーは、同ホテルの別のレストランに席が用意されていた。

そこでの Dinner の後、ホスト国のミャンマーから、Yangon 市内のダウンタウン地域にあるチャイナタウンに出かけよ
うと誘われた。

各国の YEAFEO メンバーもほぼ全員参加し、タクシーに分乗して夜のチャイナタウン散策となった。

チャイナタウンでは、PM10:00 を過ぎても賑わいがあり、青果や軽食の出店が立ち並んでいた。



事前情報では、屋台の食べ物(特にフルーツ)は、ナイフ食器が不衛生な場合が多く、また油物が多い加工品は、油が古くおなかを壊すとの事だったが、みんなでわいわい会話しながら歩いていると、そんなことは忘れて、他のメンバーから薦められたものを、パクパク食べてしまっていた。

幸い体調を崩すことも無く、情報を鵜呑みにしないで、現地で体験することの大切さを感じた。ホテルに帰り着いたのは、24:00 近くであったと思う。

6-3 19 日内容詳細

1) YANGON TOUR(8:00~12:00)

19 日は朝から Yangon 市内見学に参加した。

大型観光バスを 1 台チャーターして、YEAFEO メンバーほぼ全員が乗り込んだ。

まず到着したのは、CAFEO-22 が開催されている Sedona Hotel から 20 分程度のところにある、シェダゴンパゴダだ。

ミャンマーは国民の 90%以上が敬虔な仏教徒であり、パゴダと呼ばれる仏塔が多く点在している。

Yangon 市内だけでも 10 近くのパゴダがあると思うが、今回訪れたシェダゴンパゴダは、ミャンマー国内でも聖地とされる場所だ。



バスから降りるとミャンマーのエンジニアに靴を脱ぐように言われた。

パゴダで裸足になるのは知っていたが、まさか駐車場から裸足で行くとは思わなかった。

敷地内に入ると、日曜日ということも有り、かなり多くの人々が来ていた。

観光客ではなく、参拝に来ている地元の人々がほとんどである。本当に熱心だと思った。

ミャンマーのエンジニアにいろいろ説明してもらいながら、約 1 時間見学をした。

次に向ったのは、ミニチュア版ミャンマーとも言うべきところで、ミャンマーの各州の建造物があり、その建築様式を紹介している。

また、湖や山を模した模型が点在し、トラックバスに揺られて 30 分程でミャンマーを一周できる訳である。

ほとんどの州で高床式の住居になっており、洪水や湿気、また動物から身を守るためだと説明された。



最後に Sedona Hotel に近い国立公園に行った。大きな湖があり、幸福を運ぶとされる 2 羽の鳥を配した船を模った建造物があった。この船はミャンマーから贈られた記念品にも描かれている。

2) MARKET 見学(14:00~16:00)

CAFEO 会場である Sedona Hotel に戻り昼食を済ませた後、今度は YEAFFEO Member でアウンサン・マーケットに行く事となった。

ホテルから 15 分程度タクシーに乗り、マーケットに到着した。かなり広大なマーケットで、細い路地が格子状に走っており通りの左右にはお土産物やから、日常雑貨、食料品、衣料品とありとあらゆるものが売られている。

人出もかなり多く、まっすぐ歩けないような状況で、細く入り組んだ路地は、一人では間違いなく迷子になりそうである。

しかしながらミャンマーのサポートは非常にしっかりしていて、始めは団体で歩いていたものが、徐々に細切れ状態となっても、必ずミャンマーのメンバーが一人、一緒に行動してくれていた。

携帯電話で連絡を取り合いながら、私たちの行動をサポートしてくれ、この行動には心から感謝すると共に感心させられた。



3) 閉会式

閉会式は時間もごく短く、また会場と違うホテルに滞在していた私たちは、FARWELL PARTY の準備もあったことから、本プログラムには出席しなかった。

4) FAREWELL DINNER PARTY(19:00~24:00)

CAFEO-22 最後のプログラムとなる FARWELL DINNER PARTY は、Grand Ball Room で開催されたが、初日の Welcome Dinner とは異なり、同じ Grand Ball Room 内に、YAFEO Member の席が作られていた。

コース料理が運ばれて
ジでは各国の出し物が始

今回日本は、「カラオケ
題して、カラオケを 3 曲を

CD-ROM に音楽を録音
他国もカラオケを歌うとき
のころもあり、すっかり
いう感じだった。

しかしながら、ステージ



きて、正面ステー
まった。

は日本の文化」と
歌った。

して持ち込んだが、
ろが多く、映像付
お株を奪われたと

は概ね成功し、

YEAFFEO Member からも好評を頂いた。

終盤には、各国入り混じってステージに上がり、共に歌ったり踊ったりと、別れを惜しむ雰囲気の中で、YEAFFEO Member との親睦を一層深められたと感じた。

そんな中、24:00 を過ぎて FARWELL PARTY は終了した。

7. まとめ

7-1. 成果

各国との友好的な交流を積極的に進めたという点では非常に評価できる。参加者各個人が受身に回ることなく、社会的に各国の参加者の輪に加わる光景が多く見られた。

また、YEAFFEO会議では昨年の反省を踏まえ、事前にパワーポイントを準備して持ち込み、Country reportのセッションにおいて日本技術士会と青年技術士懇談会をアピールすることができた。同時に日本技術士会パンフレット(英語版)を多くの参加者に配布した。

帰国後はYEAFFEO各国の参加者が集うMLに我々参加者3名も加えられ、現在でも公私において交流は続いている。

全体を通じ、参加各国エンジニア協会の若手とのコネクションをより密なものにするという目的は十分達せられたと評価できる。

また、同会議に出席した香港技術者協会(HKIE)より、日本のYEI国際若手技術者フォーラム(Young Engineers International Forum)への参加を提案された。YEIとはWFEO世界技術者協会の傘下にある若手会であり、2004年11月に上海で行われたWEC世界技術者会議から発足した新しいグループである。

YEIの目的としては、

- ・ 若手技術者の交流をWorldwideに行う。
- ・ 若手技術者の情熱と能力によって持続可能な将来を構築する
- ・ 技術者の将来的な発展を促進させる

等である。

YEI上海に参加した国は、オーストラリア・ブラジル・中国・香港・デンマーク・ドイツ・マレーシア・南アフリカ・スイスである。

青技懇として現時点では、委員会で承認されれば参加する旨を窓口である香港に伝えている。いずれにしても早急な対応が望まれる。なお、YEIへ参加した場合、全体の目標に向けた活動が要求され、定期的にHP上で報告することが求められている。次回のYEIは、2008年WECブラジル開催と併に行われる予定。

[添付資料]

- ・ Country report (YEAFFEO)
- ・ Proposal for the Shanghai WEC declaration (YEI)
- ・ Agenda & Discussion summary (YEI)
- ・ Contact list (YEI)

7-2. 今後の展望

今回の派遣により、CAFEO, YEAFFEOへの参加はASEAN地域各国の技術者協会とのコネクション作りに大きく寄与することを再確認できた。しかし、昨年も指摘されていたことであるが、YEAFFEOに出席している各国の代表者と青年技術士懇談会との間に世代差があることは否めない(若手技術者の定義は35歳以下の場合が多い)。また、YEAFFEOにおけるわが国の立場はあくまでもオブザーバーであり、各国が交流を深める努力をしている会議の中で日本は基本的に発言を許されていない。これは青年技術士懇談会として国際交流の成果を示す場合、プラス要素として成り立たない。それに対し、CAFEOにおける技術発表のセッションでは、ASEAN加盟国に限らず多くの国をプレゼンターとして迎えている。

上記を踏まえ、今後中国に続く発展地域として期待されている東南アジア諸国を担う技術者との連携を密にしていくためにも、CAFEO, YEAFFEOへの参加は継続していくべきと考えるが、昨年度、今年度のようにYEAFFEOにのみ焦点をあてる必要はないといえる。事前にCAFEOにおいて発表の意思を持つ会員を派遣し、YEAFFEO出席は代表者のみとする手段も考えられる。

青年技術士懇談会が検討すべき国際交流手段としては、他に日韓技術士会議と今回提案したYEIへの参加が考えられる。特に韓国若手会との交流は地理的にも近く、また世代的・技術的にも青年技術士懇談会とマッチすることから無理なく充実した交流を深めることが可能と考えられる。また、YEIについては国際機構への加盟を問わず世界中の国々と交流が可能であり、いずれも実りある結果が期待できよう。また、CAFEOが毎年開催であるのに対し、日韓技術士会議は毎年開催地をローテーションすることになっており、YEIに至っては4年に1度である。したがって、適切に計画を練ることで年度毎に国際交流の重点目標を立てられると考えられる。

しかし、いずれにしても常時のコンタクトは必要であり、それに伴う作業も多く生じる。国際WGの人的充実だけでなく青年技術士懇談会全体の協力は不可欠である。

以上

8. 会計報告

22nd CAFEO & 11th YEAFEO in Yangon, Myanmar, REPORT

CAFEO, Conference of ASEAN Federation of Engineering Organization, is the engineer's conference which purposes are to deepen the friendship among ASEAN countries and to exchange their ideas and experiences in engineering. YEAFEO, Young Engineers of ASEAN Federation of Engineering Organization, is a subcommittee of CAFEO formed only by young engineers.

CAFEO is held every year, and the place is rotated among ASEAN countries. It was held from December 18th through 19th last year in Myanmar.

Three delegates; Takashi Kiyota, Hideki Yamada & Minoru Saito, international exchange working group member of YMIPEJ, participated in the 22nd CAFEO and the 11th YEAFEO in Myanmar. The main purpose to join CAFEO & YEAFEO was to establish a close relationship between young Japanese engineers and ASEAN's engineering associations.

First day (18th, Dec, 2004)

The 22nd CAFEO was opened at Sedona Hotel. It is one of the most exclusive hotels in Myanmar. Prime Minister, Soe Win, gave the opening speech. The ceremony was more superb than we expected. (Photo. 1)



Photo. 1

After coffee break, each subcommittee started. Of course, Japanese delegates joined in the 11th YEAFEO meeting. The room of YEAFEO seemed to be small, and country flags and microphones were set on each table. The participants of YEAFEO were mainly from ASEAN countries; Malaysia, Thailand, Brunei, Cambodia, Philippine, Indonesia, Singapore, Laos, Vietnam and the host country, Myanmar, and the rest of ASEAN were Hong Kong and Japan that participated as observers.

The subject in the morning was County reports from each country. All of participants gave their presentation on their activities and situations as young engineers. We introduced the activities of IPEJ and YMPEJ with power point. Even though the time of presentation was very short, we think, we were able to make some good impression and distribute leaflet of IPEJ to all country. (Photo. 2, 3)



Photo. 2



Photo. 3

The subject in the afternoon was what they could do to make international exchange better among ASEAN countries. The main subject was the maintenance of web site of YEAFEO. Japanese and Hong Kong delegates watched and didn't disturb them while they were discussing because we were just invited as observers. However, Hong Kong delegates gave them some advice at the meeting.

Many gifts were exchanged at the closing ceremony of YEAFEO. We gave Japanese traditional cloth wrapper (Furoshiki) to all participants. Japanese art was printed on them. The committee of YEAFEO presented a memorial shield to all country. (Photo. 4, 5)



Photo. 4



Photo. 5

Second day (19th, Dec, 2004)

All YEAFEO members went to sightseeing in Yangon. We visited Shwedagon Pagoda at the first. Shwedagon Pagoda is one of the oldest Pagodas in Myanmar, and there is a very long history of about 2,500 years. Religious Myanmar people visit Pagoda almost everyday and we saw a lot of people praying there. The birthday week has special meaning for Myanmar people. There are seven main shrines at this site. (Photo. 6, 7)

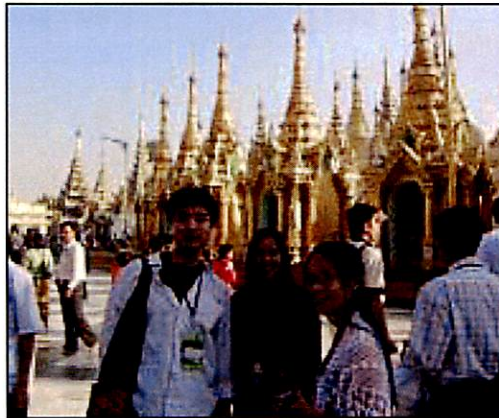


Photo. 6

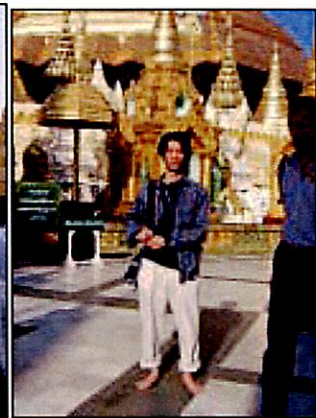


Photo. 7

After that, YEAFEO staff took us to Myanmar nation village. According to the staff, there are many tribes in Myanmar, and we saw their traditional life styles in this village. (Photo. 8)



Photo. 8

Finally, we visited the largest market in Yangon, Bogyoke Aung San Market. YEAFEO staff guided us and negotiated at the shops for foreign delegates because the general public in Myanmar does not speak English. (Photo. 9, 10)

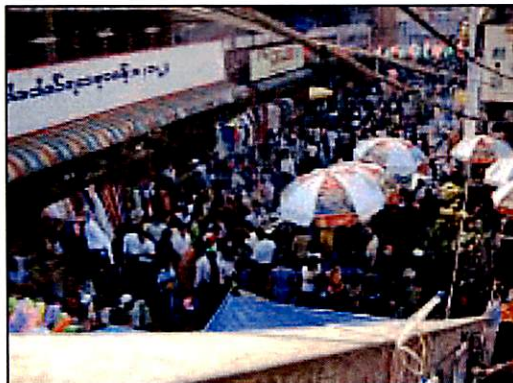


Photo. 9



Photo. 10

In the evening, the closing ceremony of CAFEO started. Japanese delegates attended the closing party, dressed in Yukata (Yamada & Saito) and Myanmar traditional wear (Kiyota). We sang Karaoke at the “Country stage”, and many other countries also sang Karaoke. It was great! Feeling over the festival ran high. It gave us unforgettable memory. (Photo. 11, 12, 13, 14)



Photo 11



Photo 12



Photo 13



Photo 14

Conclusion

YMIPEJ sent delegation to 22nd CAFEO & 11th YEAFEO in Myanmar. Despite the time shortage, we made a good relationship with delegates from every ASEAN country. We will try to keep in touch with them to establish closer relationship as young engineers. All YEAFEO stuffs helped us during all stay in Yangon. Financial support from the YMIPEJ is greatly acknowledged.

Takashi Kiyota
International exchange group of YMIPEJ